


F T P で自動バックアップ

「バックアップはだいじ」と言われても、定期的に、しかも安全な場所へバックアップするのは、なかなかタイヘン。

そこで、ホームページ用のスペースなど、F T P 接続できるレンタルサーバーを借りて、自動でバックアップしてみます。これなら、雷でパソコンや周辺機器がすべて壊れても、データは守れます。また、外出先のパソコンからでも、データにアクセスすることができます。

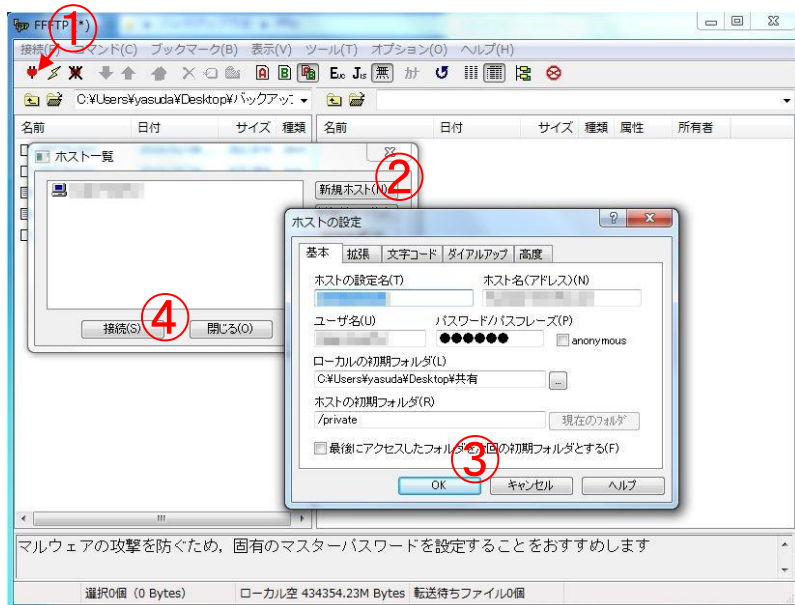
1. FFFTP の準備



①Sota Web Page を開く。
<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>

②「その他のダウンロード」項目の、「インストーラなし版」FFFTP プログラムをダウンロード。

- ③ダウンロードしたファイルを解凍し、フォルダ名を「ffftp」にします。
- ④エクスプローラを開き、C ドライブのすぐ下に「Backup」フォルダを作成。
- ⑤③「ffftp」フォルダと、添付の 2 つのファイルを、④「Backup」フォルダに移動。
- ⑥FFFTP プログラム (C:¥Backup¥ffftp¥FFFTP.exe) を実行。



⑦①「接続」→②「新規ホスト」

→③「ホストの設定名」＝バックアップの登録名

「ホスト名」＝サーバーのアドレス

「ユーザ名」＝サーバーにアクセスする際のユーザーID

「パスワード」＝サーバーにアクセスする際のパスワード

「ローカルの初期フォルダ」＝自分のパソコンの、バックアップ元

「ホストの初期フォルダ」＝サーバー上のバックアップ先

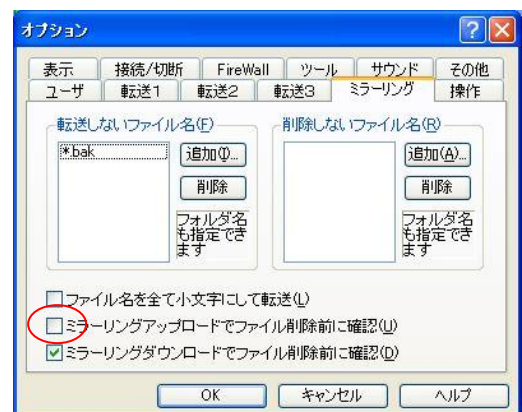
上記を入力して、「OK」

→④「接続」して、バックアップ先フォルダ（「ホストの初期フォルダ」）を作成しておきます。

複数のフォルダをバックアップするときは、②③④をくり返します。

FFFTP の接続が確認できたら、FFFTP を終了します。

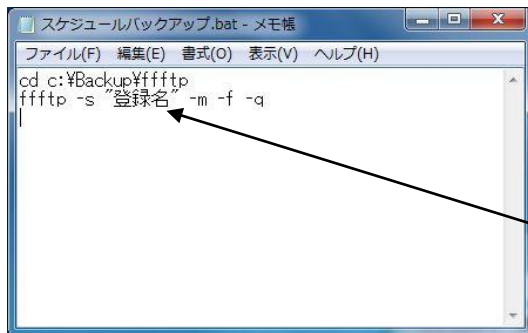
⑧「オプション」メニュー→「環境設定」→「ミラーリング」タブで、「ミラーリングアップロードでファイル削除前に確認」のチェックを外します。



以上の設定が終了したら、FFFTP を閉じてください。

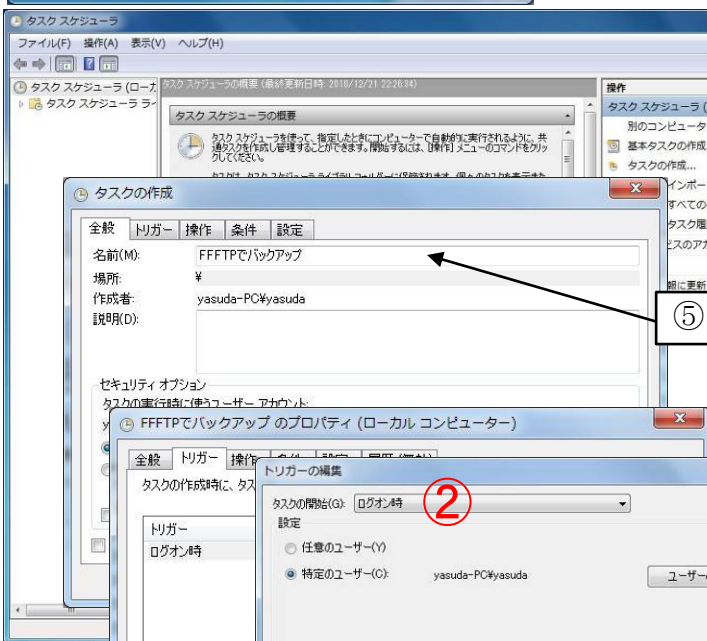
2. 定期的バックアップ

Windows7 のタスクスケジューラを使用します。(WindowsXP の場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「タスク」)



①メモ帳で、添付の「スケジュールバックアップ.bat」を開く。

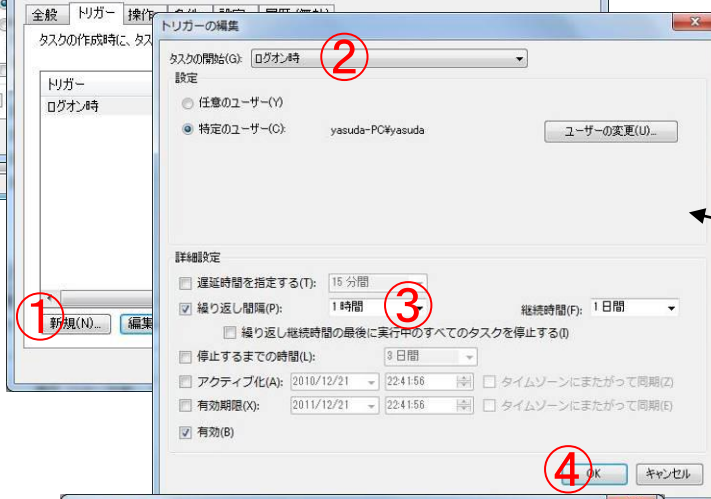
②「登録名」のところを1 ③「ホストの設定名」で登録した名前書き換えて、上書き保存。
(複数のバックアップ先を登録した場合は、2行目と同様の内容を、3行目以下に書きます。)



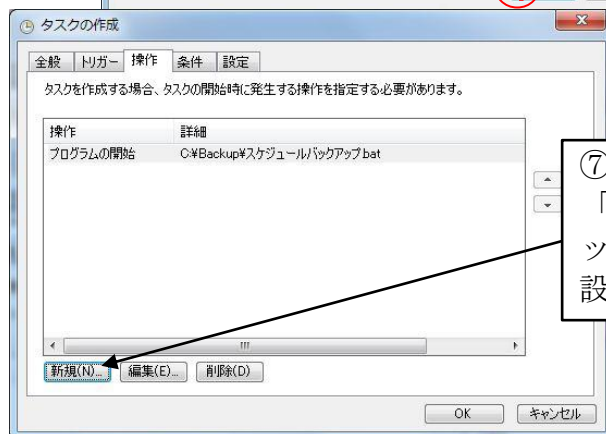
③コントロールパネル→「システムとセキュリティ」カテゴリ→管理ツール→タスクスケジューラ

④「タスクの作成」

⑤「全般」タブで、適当な名前をつける。



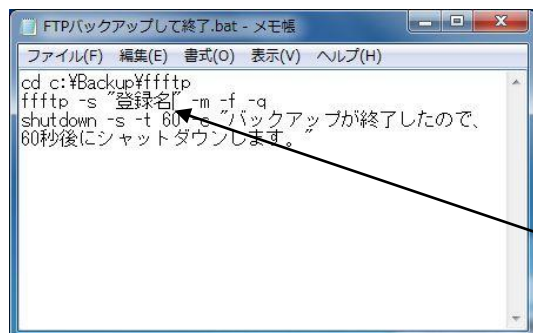
⑥「トリガー」タブで、
①「新規」→②「ログオン時」→③「繰り返し間隔」を設定して④「OK」。



⑦「操作」タブで、「新規」で「C:¥Backup¥スケジュールバックアップ.bat」を指定する。
設定が完了したら、「OK」で閉じる。

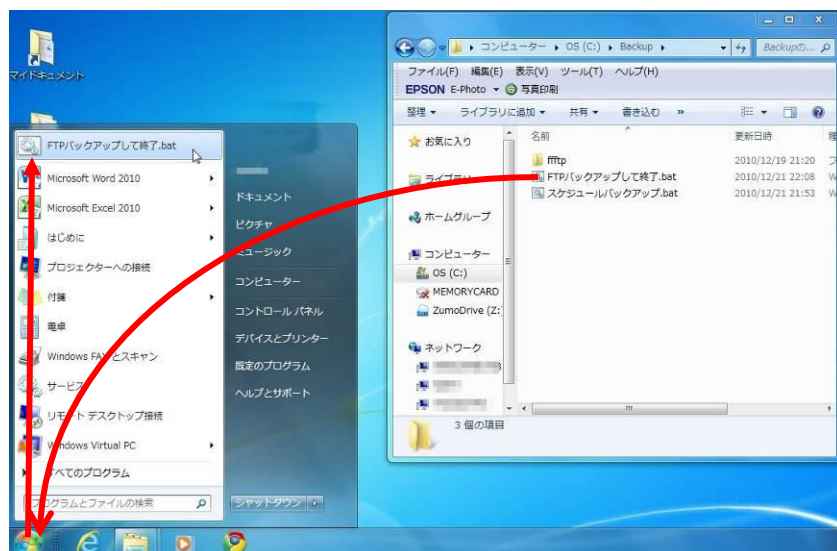
これで、1時間ごとに自動的にバックアップが行われます。

3. バックアップしてシャットダウン



①メモ帳で、添付の「FTP バックアップして終了.bat」を開く。

②「登録名」のところを1 ③「ホストの設定名」で登録した名前に書き換えて、上書き保存。
(複数のバックアップ先を登録した場合は、2行目と同様の内容を、3行目以下に書きます。)



③「FTP バックアップして終了.bat」ファイルを、スタートボタンにドラッグし、マウスボタンを押したまま待つ
→スタートメニューがポップアップしたら、いちばん上にドラッグ&ドロップ。

終了するときは、「スタート」→「FTP バックアップして終了.bat」とすれば、バックアップして、自動的に終了するようになります。